

報道関係各位

2006年7月7日
株式会社ネクスト

新築分譲マンションポータルサイト「新築HOME'S」調査報告

夫のわがまま、妻のこだわり

お互い言えない！ 住まい選びのホンネ

～住まい選び「夫の視点 VS 妻の視点」意識調査～

不動産情報ポータルサイト「HOME'S」を運営する株式会社ネクスト(本社:東京都中央区、代表取締役社長:井上高志)は、同社が運営する新築マンションポータルサイト「新築HOME'S」にて、首都圏に在住する20～60歳代の既婚男女の方を対象に、住宅購入に関する意識調査を実施いたしました。

夫婦にとってマイホーム購入は人生の一大イベント。理想のマイホームを手に入れる時、夫はどう考え、妻はどう思うのでしょうか。また、マイホーム購入に際し、夫婦はお互いをどのように見ているのでしょうか。このたび、その調査結果をまとめましたので、ご報告いたします。



“住まい選び「夫の視点 VS 妻の視点」意識調査”

<http://realestate.homes.co.jp/contents2/research>

<調査概要>

- 調査対象 : 首都圏(東京、千葉、埼玉、神奈川)に在住する20～60歳代、かつ現在マイホーム購入に向けて具体的な計画を進めているか、過去一年以内にマイホームを購入した既婚男女
- 有効回答数 : 1,000人(男性:530人、女性:470人)
- 調査手法 : インターネット調査
- 調査期間 : 2006年6月9日(金)～2006年6月12日(月)

<主な調査結果>

1. 住まい選びの際、最も重要なのは夫も妻も「日当たり」(→2ページ)

住まい選びに際して、夫・妻ともに「日当たり」を重視するようです。
特に意見が分かれたのは、夫が「駅からの距離」、妻が「収納」や「キッチン」でした。
また、妻のほうが多岐にわたる要望が多く、高望みする傾向があるようです。

2. 情報収集は夫も妻も「自分の方が熱心だと思う」が6割以上 (→5ページ)

3. 「決定権を持っているのは自分」と信じる夫 上手に夫をあやつる妻 (→6ページ)

4. 最も意見が対立するテーマは シビアな「価格」の問題 (→7ページ)

住まい選びの際に、夫婦の意見が最も対立するのは「価格」のようです。
次に続いた「間取りプラン」では、夫と妻が理想とする間取りには少々違いがあるようです。

5. わがままな夫へ こだわる妻へ 直接言えない隠れた本音 (→9ページ)

夫の主張、妻の要望など、挙がった意見をピックアップしてみました。

1-1. 住まい選びの際、最も重要なのは夫も妻も「日当たり」

住まい選びでは何を重視するのか、全28項目について「とても重要」から「やや重要」「どちらでもない」「それほど重要ではない」「重要ではない」の5段階で評価をしていただきました（表1～表3）

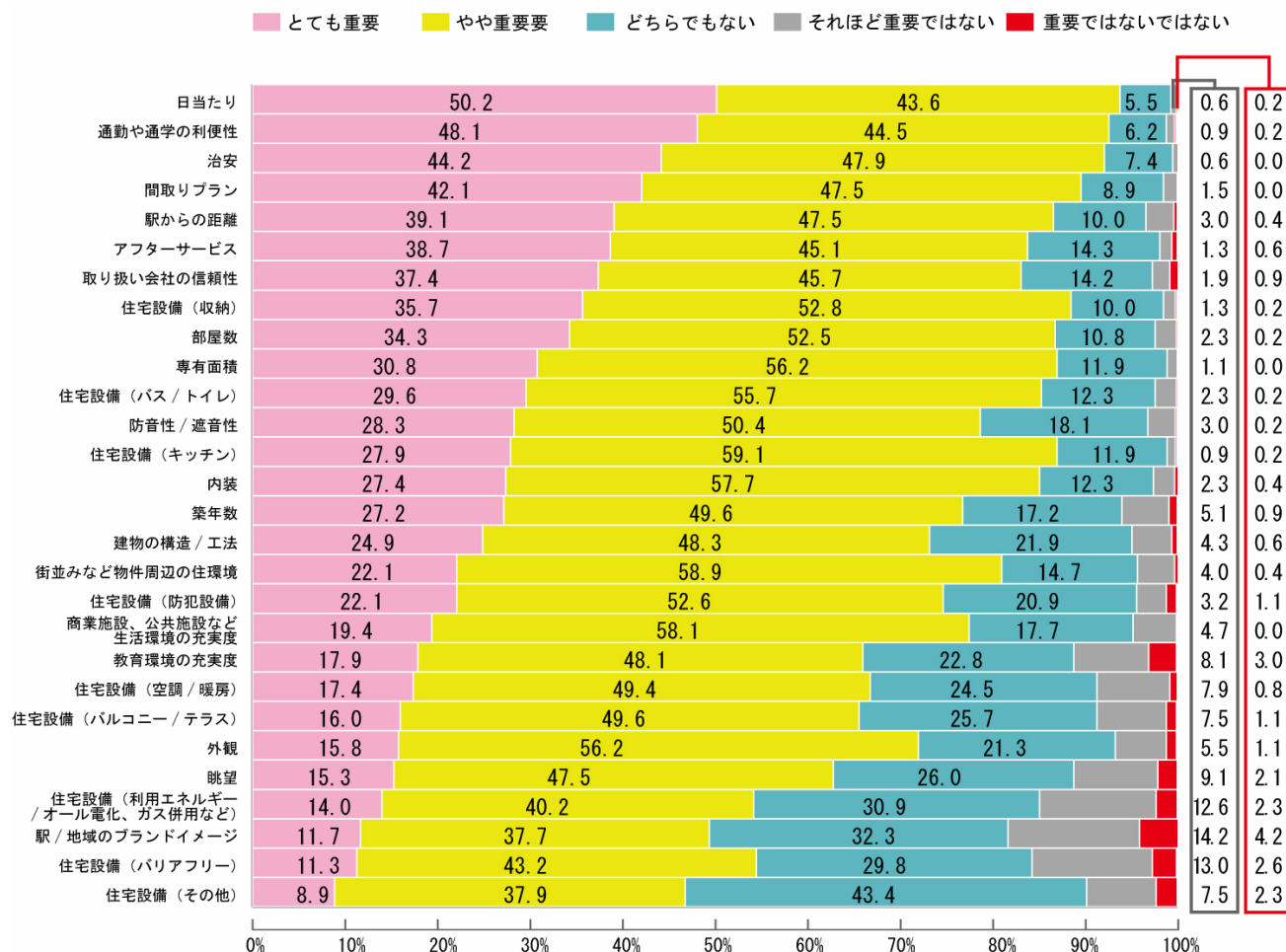
夫、妻ともトップだったのは「日当たり」。 日本人は南向きにこだわると言われていますが、やはり光がさんさんと差し込む明るい住まいは、一番の魅力のようです。
他上位に上がったのは、夫、妻ともに「通勤や通学の利便性」「治安」「間取りプラン」の3項目。
どれも、日々の生活に大きく影響する項目だけに、夫も妻も重視しているようです。

【夫の考え】

妻と比較すると、夫は「駅からの距離」や「アフターサービス」「取り扱い会社の信頼性」なども重要視していて、マイホームの内装や設備は妻に任せているようです。

Q.住まい選びの際、以下の項目をどの程度重視しますか。

表1 住まい選びの重要ポイント【夫版】



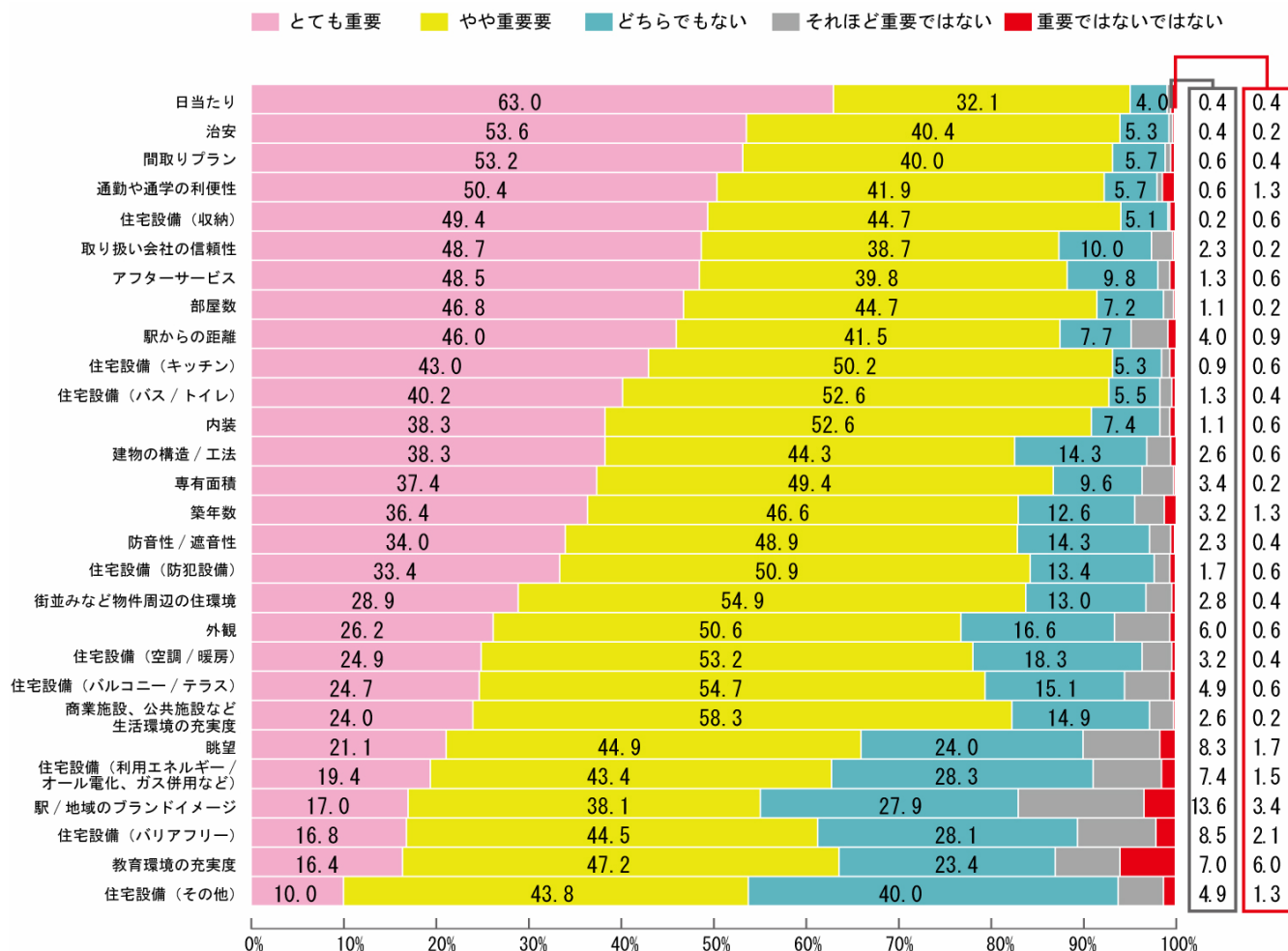
1-2. 妻は「収納」や「キッチン」など 住まいの内装も重要視

【妻の考え】

夫と違って妻が重視しているのは、「収納」「部屋数」「キッチン」でした。
夫に比べると家にいる時間の長い妻にとっては、マイホーム内部が重要だと考えるようです。
しかし、キッチンを重要視していた割に、オール電化などの設備はあまり気にしていないようです。

Q.住まい選びの際、以下の項目をどの程度重視しますか。

表2 住まい選びの重要ポイント【妻版】



1-3. 住まい選びは妻のほうが高望みする傾向あり

住まい選びでどんなポイントが重要かという質問の回答を「とても重要」から「重要ではない」をそれぞれ5～1点として、平均ポイントを出してみると、夫の平均は3.97、妻の平均は4.11という結果になりました。下の表3を見てもわかるように、妻のほうがいろいろな点で要望が多く、つまりは高望みということが言えるようです。

表3 住まい選びの重要度 ポイント表

平均スコア	
3.97	4.11

■ 住まい選びの重要ポイント	全体	夫	妻
日当たり	4.50	4.43	4.57
治安	4.41	4.36	4.47
通勤や通学の利便性	4.40	4.39	4.40
間取りプラン	4.37	4.30	4.45
住宅設備(収納)	4.32	4.22	4.42
部屋数	4.27	4.18	4.37
アフターサービス	4.27	4.20	4.34
駅からの距離	4.25	4.22	4.28
取り扱い会社の信頼性	4.25	4.17	4.33
住宅設備(キッチン)	4.23	4.14	4.34
住宅設備(バス/トイレ)	4.21	4.12	4.31
専有面積	4.18	4.17	4.20
内装	4.18	4.09	4.27
防音性/遮音性	4.08	4.04	4.14
築年数	4.05	3.97	4.14
建物の構造/工法	4.04	3.93	4.17
街並みなど物件周辺の住環境	4.03	3.98	4.09
住宅設備(防犯設備)	4.02	3.91	4.15
商業施設、公共施設など生活環境の充実度	3.98	3.92	4.03
外観	3.88	3.80	3.96
住宅設備(空調/暖房)	3.86	3.75	3.99
住宅設備(バルコニー/テラス)	3.84	3.72	3.98
眺望	3.70	3.65	3.75
教育環境の充実度	3.66	3.70	3.61
住宅設備(利用エネルギー/オール電化、ガス併用など)	3.61	3.51	3.72
住宅設備(バリアフリー)	3.56	3.48	3.65
住宅設備(その他)	3.50	3.44	3.56
駅/地域のブランドイメージ	3.45	3.39	3.52

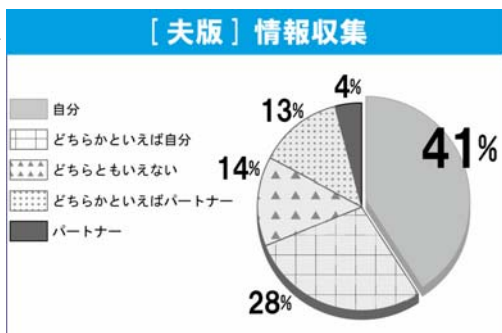
2. 情報収集は夫も妻も「自分の方が熱心だと思う」が6割以上

マイホーム購入のための「情報収集」「不動産会社との連絡」「現地見学・内覧」の3点について、それぞれにどちらが中心になって行動しているかを聞いてみました。

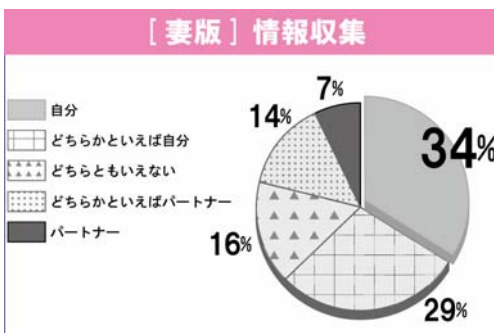
まず、「情報収集」では、夫も妻も「自分」「どちらかといえば自分」と答えた方が6割以上でした。夫も妻も、「相手より自分のほうが中心になって動いている」と考えているようです。「不動産会社との連絡・交渉」では、夫が中心になっているケースが多いようです。マイホーム購入にあたっては、価格交渉などなかなかハードな場面もあり、ここは日々厳しいビジネスの現場にいる男性のほうが有利といえるのかもしれませんが。「現地見学・内覧」では、夫も妻も「どちらともいえない」と答えた方が最も多い結果となりました。夫婦が協力して、それぞれの視点から物件をしっかりと見極めている様子がうかがえます。

Q.住まい選びの行動は、どちらが中心になっていますか？

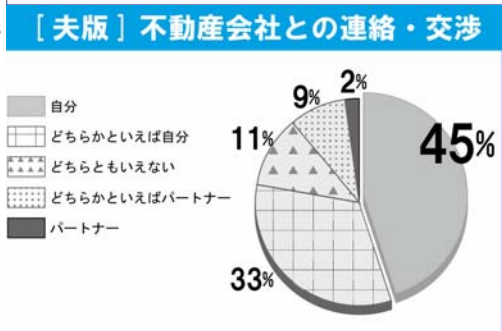
グラフ1



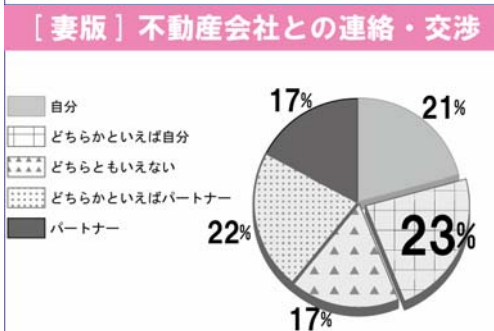
グラフ2



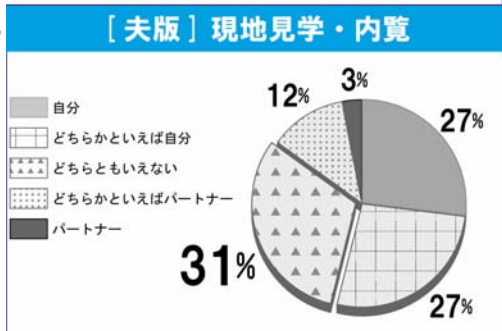
グラフ3



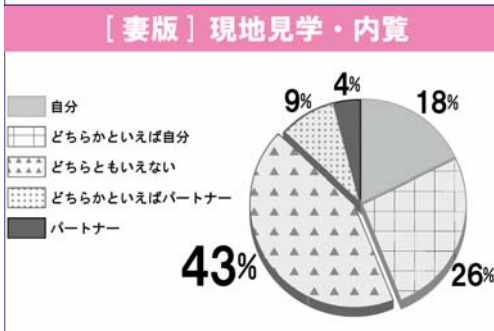
グラフ4



グラフ5



グラフ6



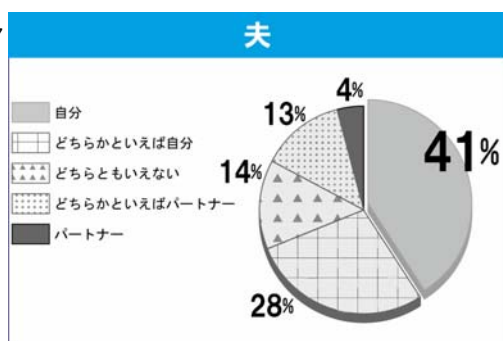
3. 「決定権を持っているのは自分」と信じる夫 上手に夫をあやつる妻

今回の調査で最も興味深かったのがこちらの「住まい選びの決定権はどちらが持っていますか？」という質問です。ご自身の回答と、それぞれにパートナーの回答を予想していただきました。

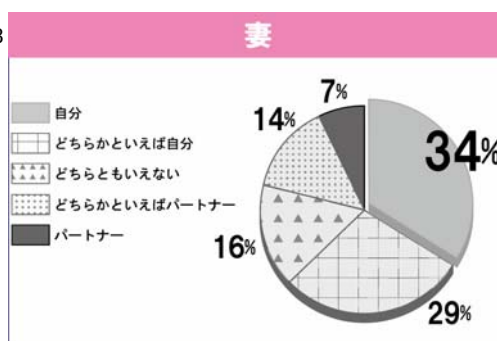
夫のほうは、「どちらかといえば自分」も含めて、自分のほうが決定権を持っていると考えている方が約7割で、パートナーも「夫が決定権を持っている」と答えるはずと信じているようです。一方、妻はというと、やはり自分が決定権を持っていると考えている方が半数を超えています。パートナーの回答の予想を見ると、大きく割合が変わりました。この結果から、「実は私が決定権を持っているけど、夫にはそう思われないようにしている」という夫婦がかなりいるのではないかと推測できます。

Q.住まい選びに関して、決定権はどちらが持っていますか？

グラフ7

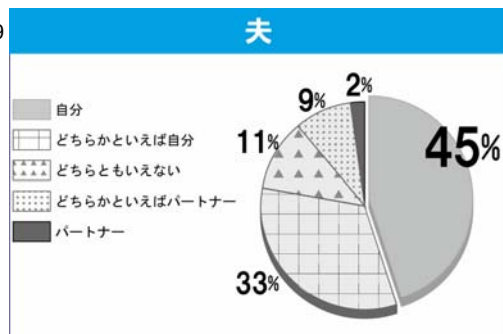


グラフ8

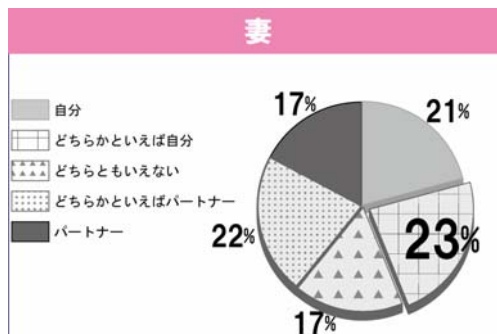


Q.同じ質問をパートナーにしたら、どう答えると思いますか？

グラフ9



グラフ10



4-1. 最も意見が対立するテーマは、シビアな「価格」の問題

住まい選びの際に、夫婦の間で最も意見が対立する、もしくは対立したテーマについて聞いてみました。

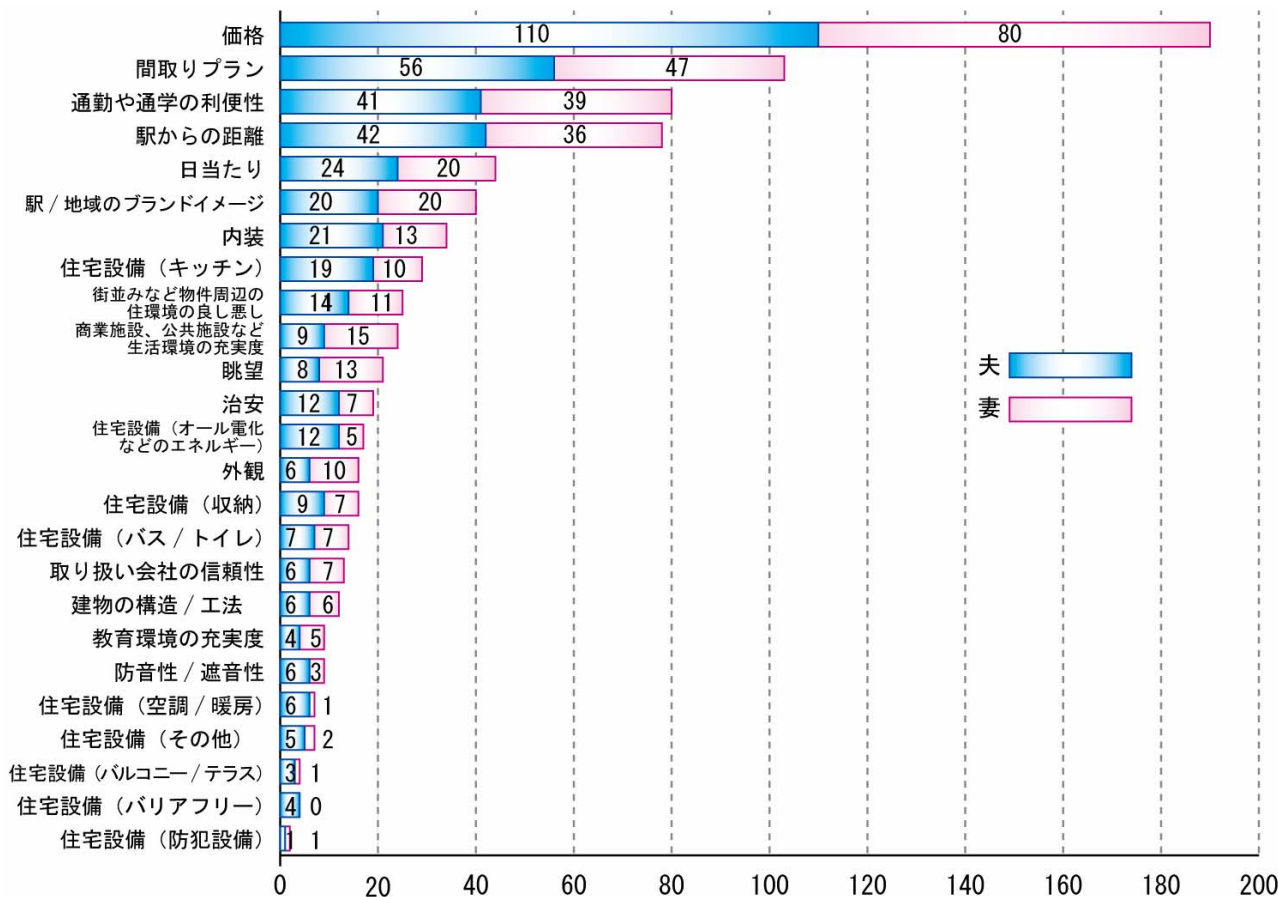
住まい選びの際に、夫婦の意見が最も対立するのは「価格」の問題でした。

次に続く「間取りプラン」を挙げた方は「価格」の約半数でしたが、夫と妻が理想とする間取りには少々違いがあるようです。

また、「通勤や通学の利便性」や「駅からの距離」なども挙がり、とくに毎日通勤する夫と専業主婦の妻とでは意見が分かれるケースが多いようです。

Q. 住まい選びの際に、最も意見が対立した(する)テーマはなんですか？

表4 意見が対立したテーマ



■フリーコメント

- ・貯金も少ないのにマンションを買うのはまだ早いんじゃないかと反対された。(26歳・男性・埼玉県)
- ・ローンの組み方。慎重にいか、多少無理をするか。(40歳・男性・東京都)
- ・金銭面のことをあまり考えずに、自分の希望ばかりを言って、ローン返済ができるかどうかでモメた。(38歳・女性・東京都)
- ・部屋の割り当てがうまくいかない。旦那が贅沢に2部屋欲しがり困る。(38歳・女性・埼玉県)
- ・フローリングVSカーペット、壁紙VS打ちっ放し、ガラス+アルミVSウッドベース、と趣味が正反対 (51歳・女性・東京都)

5. わがままな夫へ こだわる妻へ 直接言えない隠れた本音

フリーコメントでうかがった、夫婦で意見が対立したときのエピソード、パートナーへの要望から、目立ったご意見、切実な主張などを取り上げてみました。

■切実なのは、やはりお金の問題 みなさんいろいろあるようです

- ・金を出せばいいものが買えるのは当然だが、あまり高望みしないでほしい(34歳・男性・東京都)
- ・共働きなのだから、費用を半分出せ！(57歳・男性・千葉県)
- ・価格が高いというと、都内だからこのくらいはしょうがないと言われてしまう(30歳・男性・東京都)
- ・ある程度の希望にはこたえたいが、無理な要求はやめてほしい(29歳・男性・神奈川県)
- ・スポンサー様なので、扱いがたいへん...(31歳・女性・東京都)
- ・しいていえば、年収がもっとあれば選択の幅が広がったと思うが、それは言っちゃいけないし(28歳・女性・東京都)
- ・お金、お金っていうけど、それならしっかり働けば！(29歳・女性・東京都)

■オトコのわがまま

- ・少しくらい無理をしても私は良い条件のものを買いたいと思う。後悔しないためでもあるし、足りない分は親に頼ろうという気持ち。でも夫は親には頼らないという頑固な気持ちがあって、絶対条件の金額を先に出していて、それを超えるとどんなにいい物件でも手を出さない主義(41歳・女性・神奈川県)
- ・彼はとにかく駐車場で車をいじったりしたいので、建物より車優先で考える(33歳・女性・神奈川県)
- ・私はリビングさえ広ければ1LDKでもよいくらいだが、主人は自分の書斎が欲しいらしく2LDK以上が良いと主張(30歳・女性・東京都)
- ・2.5畳ほどの納戸があり、そこを改良して書斎にしようと思ったら猛反対にあった(43歳・男性・千葉県)
- ・自分の趣味(サーフィン)優先で、海辺の物件にこだわる(42歳・女性・千葉県)

■やっぱり女性はブランド好き？

- ・私はどこもそんなに変わらないと思うが、パートナーからするとイメージがあるらしく「〇〇はイヤ」と、ある地域を選択肢から外してしまう(27歳・男性・神奈川県)
- ・私は地域のイメージをととても重視するのですが、主人はそういうことには全く無関心で意見が対立(50歳・女性・東京都)
- ・メーカーによって価格がずいぶん違うので、自分は安価なところ主張。でも、妻は知名度を優先(43歳・男性・千葉県)
- ・妻は駅のブランドを気にするが、私はブランドより駅からの近さのほうが重要だと思う(39歳・男性・東京都)

■実家問題いろいろ

- ・都心に出やすい場所を希望する私と、実家に近い場所を希望する妻。結局実家の近くに住むことになりそう(29歳・男性・埼玉県)
- ・旦那の父親関係で物件を探すのはやめてほしい。夫婦で住む家だから、夫婦で決めたい(26歳・女性・東京都)
- ・二世帯にすれば買わなくてもいいのに、納得してもらえない(29歳・男性・埼玉県)
- ・結婚する際の条件が、パートナー側の実家の近くに住むということだった。私は半ばマスオさん...(28歳・男性・東京都)
- ・二世帯住宅なんてやめてほしい(25歳・女性・千葉県)

【参考資料】回答者基本属性

性別	
男	女
53%	47%

年齢					
20代	30代	40代	50代	60代	
21.7%	34.8%	24.2%	17.1%	2.2%	

性年代別							
男-20代	男-30代	男-40代	男-50代	女-20代	女-30代	女-40代	女-50代
15%	14%	11%	13%	13%	12%	12%	10%

居住地			
埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
20%	16%	38%	26%

世帯年収										
300万円以下	301～400万	401～500万	501～600万	601～700万	701～800万	801～900万	901～1000万	1001～1200万	1201～1500万	1501万以上
4.50%	8.10%	12.70%	11.80%	11%	12.30%	8.20%	10.10%	8.10%	6.90%	6.20%

居住形態										
賃貸住宅(一戸建て)	賃貸住宅(民間アパート・マンション)	賃貸住宅(公社・公団マンション)	賃貸住宅(社宅・官舎・寮など)	持ち家(一戸建て)	持ち家(民間マンション)	持ち家(公社・公団マンション)	親族宅同居	下宿・間借り	その他	
4.90%	28.90%	5.20%	4.70%	31.40%	21.90%	1.60%	1.10%	0.10%	0.20%	

ライフステージ							
既婚・子供なし	既婚・子供(未婚)が小学生以下で共働き	既婚・子供(未婚)が小学生以下で専業主婦	既婚・子供(未婚)が中学生以上で共働き	既婚・子供(未婚)が中学生以上で専業主婦	既婚・子供(未婚)が社会人以上	その他	
35.56%	10.08%	19.55%	7.31%	14.25%	12.89%	0.25%	

〈 会社概要 〉

社名 : 株式会社ネクスト
設立 : 1997年3月12日
代表者 : 代表取締役 井上高志
資本金 : 187,590千円
所在地 : 〒104-6215 東京都中央区晴海1-8-12
 晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟 15階
連絡先 : 電話: 03-6204-4040(代) FAX: 03-6204-3961
 URL : <http://www.homes.co.jp/> (不動産情報ポータルサイト「HOME'S」)
事業内容 : 住宅・不動産ポータル事業
 ・日本最大の不動産情報ポータルサイト「HOME'S」の企画・運営
 ・新築分譲マンションポータルサイト「新築HOME'S」の企画・運営
 ・新築分譲マンションポータルサイト「イースマイドットコム」の企画・運営
 ・新築分譲戸建住宅ポータルサイト「新築一戸建てHOME'S」の企画・運営
 ・注文住宅ポータルサイト「家づくりHOME'S」の企画・運営
 ・リフォームポータルサイト「リフォームHOME'S」の企画・運営
 ・不動産投資ポータルサイト「投資HOME'S」の企画・運営
 ファイナンス事業
 ・「HOME'S CARD 家賃サービス」の企画・運営
 ・「HOME'Sマイルーム保険」の企画・運営
 広告代理事業
 ・Web広告プロモーション、バナー広告の企画提案

HOME'Sとは:

北海道から沖縄まで、全国160万件の不動産物件情報を検索できる、日本最大の不動産情報ポータルサイトです。
 楽天市場、infoseek、Nifty、BIGLOBE、OCN、ODN、dion、So-net、Excite、fresheye、asahi.com、ビッダーズ、ロイタージャパン、駅前探検倶楽部、ascii24等の50以上のサイトと提携しています。

〈本件に関するお問い合わせ先〉
 株式会社ネクスト 管理本部 広報グループ
 東京都中央区晴海1-8-12
 晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟 15階
 Tel: 03-6204-4067 E-MAIL: press@homes.co.jp